

2022年度春季シンポジウム

マルトリートメント ・その後

愛着障害を抱えた思春期の子どもと 家族を地域で支える

シンポジウム

「健康な力を活かした長期ケア、事例を中心に」

河西 有奈

白峰クリニック

「家族療法の視点で支える」

森野百合子

成増厚生病院子どものこころケアセンター

指定討論

中川 種栄

町田こころのクリニック

司会：上別府圭子・高橋 道子

子どもと家族のQOL研究センター

日時

2022. 4/24 (日) 13:30～16:00

会場

Zoomオンライン開催 (予約制)



一般社団法人 子どもと家族のQOL研究センター
QOL Research Center for Children and Family



開催概要

昨年のシンポジウムは「子どものマルトリートメント～虐待が生じる家族と子どもへのケア～」を開催しました。そこで、子どもの心と身体の健全な成長・発達を阻む養育（マルトリートメント）が、物理的な損傷を脳に与えてしまうものではある一方、その後の適切なケアにより回復し、成長していく可能性について議論を深めました。

今回のシンポジウムでは、幼少期に養育上の問題を抱えた子どもは、愛着の問題を抱え、思春期・青年期を迎えた時に、複雑な生きづらさに苦しむケースを臨床場面で多く体験します。今回はそのような子どもと家族を地域でどのように支援していくかについて、学びあう機会にしたいと企画しました。



シンポジスト



シンポジスト

河西 有奈 白峰クリニック 臨床心理士・公認心理師

1990年より埼玉県児童相談所に5年間勤務。その後、米国のコミュニティメンタルヘルスセンターにて、インターンとして精神保健福祉を学び、1998年サンフランシスコ州立大学カウンセリング修士課程を卒業。帰国後、精神科クリニック、私設心理相談室などを経て、白峰クリニックに勤務し現在に至る。地域に根差した精神科クリニックにて、精神科臨床、特にアディクション問題、複雑性PTSDや愛着の問題、発達障害等の心理カウンセリングや集団療法を行っている。



シンポジスト

森野百合子 成増厚生病院子どものこころケアセンター長 精神科医

日本医科大学医学部卒業、国立精神神経センター武蔵病院にて精神科研修後、東京都立東村山福祉園、日大板橋病院等を経て、渡英。モーズレイ病院等にて家族療法を学び、ロンドン大学キングスカレッジにて家族療法修士、2000年に英国精神療法協会公認家族療法士。その後、ロンドンにて公立の児童精神科医療サービスに従事。帰国後は東京都立小児医療センターをベースに、児童虐待の困難事例の治療を行っている。2021年より現職。



指定討論者

中川 種栄 町田こころのクリニック院長 精神科医

東京慈恵会医科大学卒業。同大学精神医学教室に入局、精神科診療および精神薬理学の研究に従事。日本精神神経学会認定精神科専門医。2003年より現職。



司会

上別府圭子

当法人代表理事。看護師、保健師。2022年4月より国際医療福祉大学大学院家族看護学教授。こども・女性・家族のメンタルヘルスを考える中で、児童虐待予防をライフワークの一つのテーマにしている。



司会

高橋 道子

当法人理事。臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士。学生相談、大学病院精神科心理士を経て、現在さいたま市湯澤医院臨床心理士、青山学院大学非常勤講師。



参加登録

- 対象** : 保健師・助産師・看護師、心理職、医師、教員、保育士、ソーシャルワーカー、子育て支援に関わる職業の方
定員 : 100名（先着）
登録期間 : 2022/3/28（月）～4/18（月）（予約制）
登録方法 : 右記QRコードからお申込みの上、参加費をお振込みください
参加費 : 3,000円（返金不可）

4/21（木）23:00まで延長（申込・振込ともに）

参加費振込先：三菱UFJ銀行本郷支店 普通預金 0309933

一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター 代表理事 上別府圭子

※申込みおよび参加費の振込をもって参加登録とさせていただきます

※ご寄付も歓迎します。虐待予防の啓発事業に活用させていただきます

※登録確認後、4/21 前後にZoom用URLをお知らせします



一般社団法人 子どもと家族のQOL研究センター
QOL Research Center for Children and Family

お問い合わせ
ご連絡

QRCCF事務局へのご連絡は
右記QRコードからお願いします

